

FACTORY GUIDE | EXPERIENCE WORKSHOP / VIEWING WORKSHOP / SHOP / MUSEUM

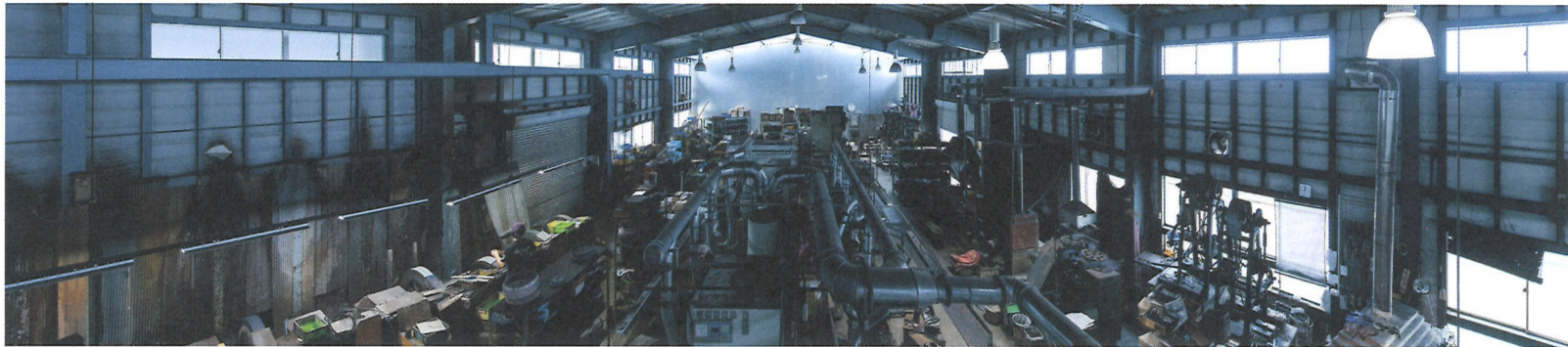
**TAKEFU
KNIFE
VILLAGE**

私たちは、美しい切れ味を鍛えています

越前打刃物は、約700年の歴史があります。

京都の刀匠・千代鶴国安が、刀剣制作のための良質な水を求めて府中（現・越前市）に辿り着き、近隣の農民のために「鎌」を作ったことがきっかけだと言われています。

今もなお受け継がれているのは、いつの時代の職人も、その時代に合わせた形や技を生み出し、磨きながら、必死に守り抜いてきたからです。私たちタケフナイフビレッジは、様々な刃物会社が運営する協同組合で、多数の職人が伝統工芸士の認定を受けています。先人の心と伝統を守りながら、日々、新しい挑戦を続けています。



本館2階からの工房見学風景（写真上）



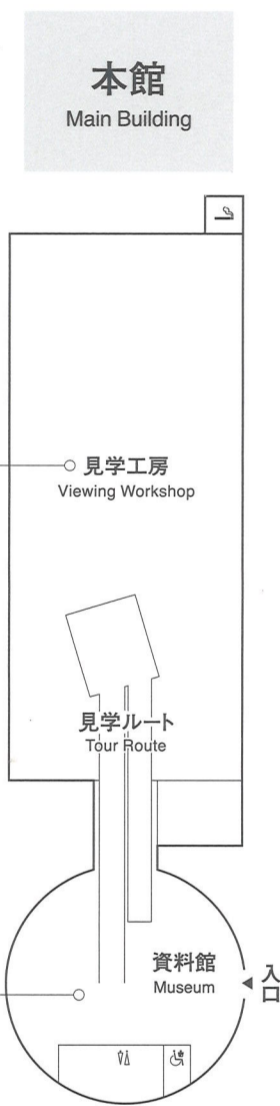
見学工房 Viewing Workshop

タケフナイフビレッジの工房は複数の刃物会社が働く「共同工房」となっております。スロープを上がって、2階から作業風景を一望出来ます。見学は平日がオススメです。

※団体での見学は事前にご相談ください。



資料館 Museum



川崎和男展示室 Kazuo Kawasaki Exhibition

Kazuo Kawasaki Exhibition

2006年に金沢21世紀美術館で展示された川崎和男氏の作品を再現したもので、切るという行為をそのまま空間に表現しました。



ショップ Shop

タケフナイフビレッジ協同組合の13社の製品はもちろんのこと、共同で制作したオリジナルブランド製品の販売も行っており、素材、種類、用途などお客様のニーズに合った製品を揃えています。

タケフナイフビレッジ
オフィシャル オンラインストア
tkvstore.net



体験教室 Experience 要予約

現役の職人が直接指導します。材料を赤めてハンマーで鍛え打つ火造り鍛造から仕上げまで、ほとんどの工程を体験できる教室や、団体向け・子供向けの教室などをご用意しております。



コース	所要時間	開始時間	体験金額
両刃包丁	6時間	9:30	¥15,000
小出刃包丁	3時間	9:30 / 13:30	¥7,000
両刃研ぎ	1時間	要相談	¥6,000
小出刃研ぎ	1時間	要相談	¥5,000
ペーパーナイフ	1~2時間	要相談	¥1,000
キーホルダー	40~60分	要相談	¥600
切り出し※1	4時間	9:30	¥15,000
鍛造ナイフ教室※2	1~2日間	—	コースにより

◎体験教室は18歳以上（キーホルダー、ペーパーナイフは10歳以上）
◎ご予約は原則2週間前までにお電話にてお願いします。
◎予約状況はホームページにてご確認ください。
◎料金は変わる可能性があります。
◎材料は全てこちらで用意します。
出来上がったものはお持ち帰り頂けます。
※1.平日限定のコースです。
※2.募集型のため、参加者は抽選になります。



研ぎ直し・修理 Maintenance

職人による研ぎ直し・修理のサービスも行っております。他社製品も受付可能です。包丁、鎌、刈込鋏、斧、剪定バサミ、ラシャ切鋏、糸切り鋏、ナタ、その他各種受け付けております。



研ぎ直し種類	金額
家庭用包丁	¥900~
ラシャ切ばさみ	¥1,400~
剪定ばさみ	¥1,400~
刈り込みばさみ	¥1,700~
鎌	¥1,100~

◎素材や構造等により、研ぎ直しが出来ない物もございますので、予めご了承ください。◎通常は3~5日程度、特殊な物であれば1週間~10日程度、お預かりさせていただきます。
◎料金は変わる可能性があります。

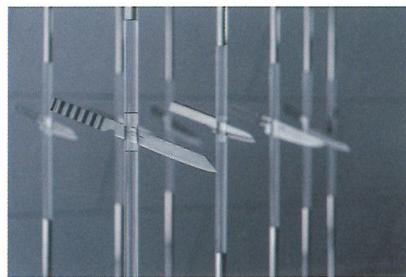
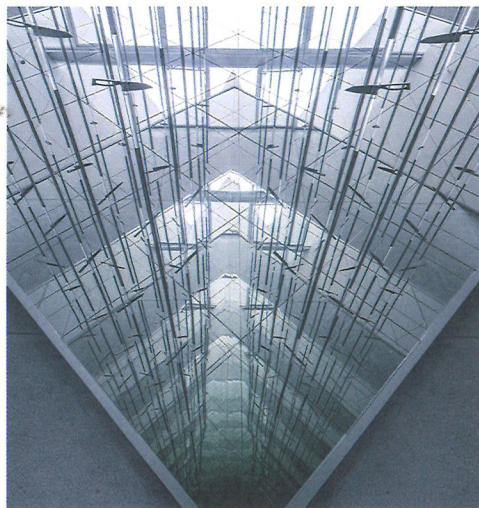


KAZUO KAWASAKI EXHIBITION

2006, Mirror, Stainless pipe

作品コンセプト concept

刃物は切ることが機能である。刃物を展示するには、切るという行為をそのまま空間の天井、床、背後までに、切り込みを象徴したい。したがって、展示空間は、天と地と前後に、拡張と拡大を仕組む。この拡張と拡大は、空間容積を錯視によって大きくすることを目指すことになるだろう。錯視は、生理的な視覚現象の応用を意図するわけではない。伝統工芸の革新性や存続性が、時間制の遠近感という印象を引きださせることを意味してる。



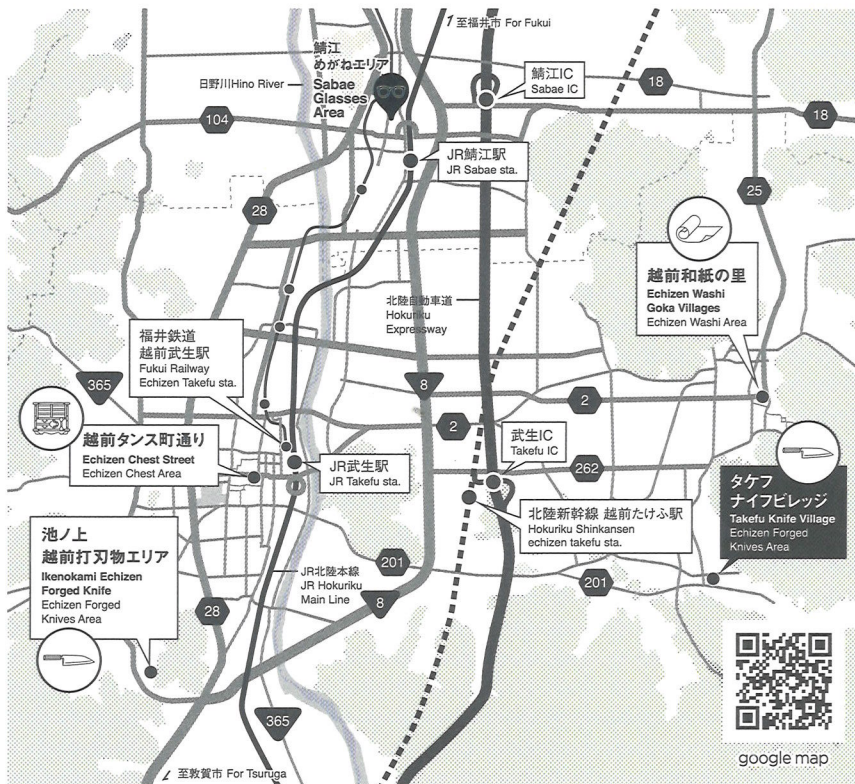
設計: 本館(左)毛綱毅曠
新館(右)長田直之

1993年に竣工したタケフナイフビレッジ共同工房は、建築家・毛綱毅曠氏の設計によるもので、前面の広場とコルゲートパイプで作られた円筒形の「神殿」、そして「劇場」化された日常作業の工房を階段やスロープが貫入する臨場感のある建築です。新工房の建築にあたって、タケフナイフビレッジ誕生からデザインディレクターを務める川崎和男氏が示したコンセプトは「盤」。毛綱氏の建築と川崎氏の「盤」というコンセプトを踏まえて、建築家・長田直之氏は、この増築を単体としての閉じたものとしてではなく、ビレッジ(共同体)にしかない可能性を開く建築として位置づけています。隣接する神殿と同じ大きさの前面をもつ広場や、既存の建築と一体となるようなランドスケープの中に、異なる光の質を内包した一辺9mの正三角形断面をもつ二つの空間が接合されています。エントランスやショップのある空間は、均質な光にあふれ、展示室や見学工房にも、それぞれ異なる光の環境が作られています。

INFORMATION

開館時間: 9:00~17:00
open 9:00~17:00

休館日: 年中無休(年末年始を除く)
closed over New Year holidays



google map



タケフナイフビレッジ協同組合

〒915-0031 福井県越前市余川町22-91
TEL.0778-27-7120/FAX.0778-27-7100

Takefu Knife Village Assn. 22-91, Yokawa-cho, Echizen-shi, Fukui, 9150031, JAPAN



オフィシャル
ウェブサイト



旅行会社様、
団体様はこちら